

2022年度 自己評価報告書

学校法人 澤田学園
松江総合医療専門学校

評価基準表

4	適切である
3	ほぼ適切である
2	やや不適切である
1	不適切である

評価項目の達成及び取組状況

1. 教育理念・目標

評価項目	評価	現状、課題、今後の改善方策等
学校の教育理念・教育目的・育成人材像は定められているか	3.5	<p>教育理念、教育目標等は、学内での掲示や学生便覧への記載により、教職員の意識づけ及び学生、保護者へ周知している。</p> <p>教職員は理念、教育目標を念頭に置き、運営や教育にあっている。</p> <p>3ポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッションポリシー）を策定している。</p> <p>【教育理念】 「本校は、地域の保健・医療・福祉施設などにおいて、人々の健康の担い手として活躍できる質の高い医療従事者を育成することを目指します。」</p> <p>【スローガンー信頼を育む、技術を磨くー】 「本校は、医療従事者に不可欠な思いやりの心を養い、医療技術を習得するための学校として存在することを目標に掲げます。」</p>
学校における職業教育の特色は何か、明確になっているか	4	カリキュラム・ポリシーに基づき、社会適応力や実践力の修得、課題解決能力の修得に向けた教育を行っている。学生便覧に明記及びホームページで公表している。
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	松江市と連携し、地域に根差す学校として積極的に地域貢献を行っている。
学校の教育理念・教育目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	教育理念・教育目標等は学生便覧に記載しており、保護者にも配布し周知している。また、オリエンテーションでは、教育理念・教育目標・育成人材像・教育の特色等について説明をしている。
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等の対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	各学科とも外部から講師を招く等、業界との交流は積極的に行っている。現状に則した専門職の状況や業界のニーズは把握できている。

2. 学校運営

評価項目	評価	現状、課題、今後の改善方策等
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	地域医療に貢献できる医療従事者を輩出するために医療機関等と連携しながら実践的な教育をめざすため毎年度毎の運営方針を策定し、全教職員を対象とした合同研修にて共有を図っている。
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	運営方針に沿った事業計画を策定している。全教職員を対象とした合同研修にて共有を図っている。
運営組織や意思決定機関(会議や委員会等)は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4	理事会、運営会議を設置し、定期的に開催し、有効に機能している。
人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	就業規則、賃金規則に定められている。
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	コンプライアンス体制は整備されている。
学校運営組織に外部人材が理事等として参画しているか	4	理事会に外部人材が理事参画している。
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	ホームページやメール、SNS、学校便り等で情報を毎日発信している。
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	オンライン化によりコロナ禍におけるリモート講義や、会議等、効率化を図っている。

3. 教育活動

評価項目	評価	現状、課題、今後の改善方策等
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	教育理念に沿った教育課程の編成・実施は各学科行っている。
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間は学生便覧で明確化している。
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	指定規則に基づき学科等のカリキュラムは学生が学びやすいように体系的に編成している。
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが計画・実施され、シラバス等にも明示されているか	4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育を行っている。
職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	学校関係者評価委員会、有識者懇談会を定期的開催し、外部からの客観的な意見を取り入れている。日頃から外部講師や実習施設と連携をとり、よりよい教育活動を目指している。また、実習施設から意見をいただく場を設けている。(実習指導者会議等)
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確であり、GPA等の客観的指標が取り入れられているか	4	学則にて成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確にされており、情報公開している。
人材育成目標の達成に向けた授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	指定規則に定められた資格要件の教員の確保はできている。
実務経験のある教員を一定数確保しているか	4	指定規則要件に定められた実務経験のある教員を確保している。
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	実際に経験した分野の教員が教授している。また必要に応じて外部講師を依頼している。
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	実習指導者養成講習会等、各業界の活動に積極的に参加をしている。
教職員の能力開発のための研修等が行われているか(教員の臨床研修を含む)	3	外部での研修等に積極的に参加している。

4. 学修成果

評価項目	評価	現状、課題、今後の改善方策等
就職率の向上が図られているか	4	求人倍率 理学療法学科 96.8 倍 作業療法学科 121.3 倍 看護学科 73.2 倍 学生の意向を尊重しながら、適切な指導をしている。
資格取得率の向上が図られているか	3	合格率 100%を目指し、更に一層努力する。
退学率の低減が図られているか	3	退学ゼロ運動を展開し、退学率の低減に取り組んでいる。
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	就職先から常に情報収集して活躍を把握している。 在校生についてもボランティア活動等、学外活動も把握するようにしている。
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	学友会、実習施設等で、卒業生とかかわる機会を通じて把握しており、教育活動の改善に活用している。

5. 学生支援

評価項目	評価	現状、課題、今後の改善方策等
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	進路・就職に関する支援体制は整備されている。
学生相談に関する体制は整備されているか	3	各学科で学生がいつでも相談できる体制を整備している。また、教員、職員が学生の変化を察知し声掛け、相談に乗る。
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	学校独自の奨学金の充実、澤田学園基金により、緊急的な支援を実施している。
学生の健康管理を担う体制はあるか	4	学生の健康管理は徹底している。学生健康診断を年に一回行っている。保健室を各棟に置き、校内各所に消毒液、検温器を設置している。
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	学校行事として、健康フェスティバル等、地域の行事に積極的に参加している。
学生の生活環境への支援は行われているか	4	学業に集中できる生活環境支援を行っている。
保護者と適切に連携しているか	4	定期的に保護者面談を実施したり、必要に応じて保護者と連絡を取り、連携を深めている。学校情報誌の配布。
卒業生への支援体制はあるか	3	組織的な支援は行っていない。
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	医療従事者としての将来像をイメージし、教育環境を整備している。
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	出前授業や、職業教育の授業、学校ガイダンスにも参加する等、積極的に取り組んでいる。

6. 教育環境

評価項目	評価	現状、課題、今後の改善方策等
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	指定規則上必要な設備は有している。また現場のニーズに応じて購入も行っている。コロナ禍により増えたりリモート講義や学内実習に対応できるよう設備や備品を充実し、学びを止めないための環境整備を進めた。
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	指定規則で定められている実習時間数を実施している。学内実習環境も整備している。学外研修も医療現場がイメージしやすいよう工夫し実施している。
防災に対する体制は整備されているか	3	防災マニュアルを整備し、避難訓練を行っている。

7. 学生の受け入れ募集

評価項目	評価	現状、課題、今後の改善方策等
学生の募集活動は、適正に行われているか	4	オープンキャンパス (WEB 含)、進学相談会、高校訪問、学校見学の受け入れ、SNSの活用、学校だより等の広報物の発行、DMの発送等、募集活動は多岐にわたる。SNSの活用については、SNS委員会を中心に情報発信をタイムリーに行うことに努めている。広報と教員が連携し、積極的に適正に行っている。
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	伝えている。
学納金は妥当なものとなっているか	4	妥当なものと考えている。

8. 財務

評価項目	評価	現状、課題、今後の改善方策等
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	妥当と考えている。
財務について会計監査が適正に行われているか	4	適正に行われている。
財務情報公開の体制整備はできているか	4	情報公開体制整備ができている。

9. 法令等の遵守

評価項目	評価	現状、課題、今後の改善方策等
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	法令、専修学校基準等の遵守を常に意識し、運営がなされている。
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	個人情報保護に関する基本方針に基づき、個人情報保護を行っている。学生便覧にも明記している。職員についても規定に則り対策をとっている。
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	自己評価を実施し、問題点の改善に努力している。また、学生の満足度調査を実施し、さらなるいい学校づくりを行っている。
自己評価結果を公開しているか	4	情報公開している。

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価	現状、課題、今後の改善方策等
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	松江市内の高等学校に教員を派遣し、授業を行っている。 地域の健康フェスティバルや、ボランティアに参加している。
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	コロナ禍で減少していたボランティアの依頼が微増の傾向にあり、募集があったものに関しては学生周知をして積極的に参加を奨励支援している。
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	積極的に実施している。